

にゅうじょう
②0 円空入定塚 (岐阜県史跡 池尻)

長良川の右岸に「円空上人塚」と刻まれた石碑が建っています。ここは生涯12万体の仏像を作ろうとした円空が自らの死期を予覚し、元禄8年(1695年)に入定した場所といわれています。円空は里人に繁茂する藤を指し、「この藤の花が咲く間は、この土の下で生きています」と言い残し、入定したと伝えられています。また、弥勒寺の裏山には「当寺中興圓空上人 元禄八年乙亥天七月十五日」と刻まれた円空の墓があります。

毎年8月の第1日曜日には円空上人の法要と川まつりが池尻の弥勒寺と長良川河畔で行われます。



豆知識 入定——入禅定(禅定に入る)の省略で、悟りの境地に達するための修行のこと。

【アクセス】 関市自主運行バス関板取線「鮎之瀬橋」下車、東へ徒歩5分
国道156号線・小瀬六番町交差点を西へ行き、小瀬北交差点を北へ曲がり、鮎之瀬橋を渡って右折してすぐ

関の文化財探訪

その12

関の「文化財」を紹介します。

照会先 文化財保護センター ☎46-2313

②1 円空作仏像 (関市重要文化財 池尻)

像高が22.2cmの小さな稲荷神です。もとは関市上之保小笹に安置されていたものですが、現在は円空館に寄贈され、展示されています。口がとがり、狐をイメージして作ったと想像できます。

稲荷神は、現在は産業・商業の神として信仰されることが多いのですが、本来は穀物・農業の神です。円空は、五穀豊穰を願う農民のために、この仏を彫ったのでしょう。

【利用案内】 円空館……開館時間：午前9時～午後4時30分
休館日：月曜日(祝日除く)、祝日の翌日(土・日・祝日を除く)、年末年始
入館料：大人200円、中学生以下無料

【アクセス】 関市自主運行バス関板取線「鮎之瀬橋」下車、北へ徒歩3分
国道156号線・小瀬六番町交差点を西へ行き、小瀬北交差点を北へ曲がり、鮎之瀬橋を渡ってすぐ



おわびと訂正 広報せき6月1日号「文化財探訪」に掲載した記事に誤りがありましたので、おわびして訂正します。

【誤】塵振り人形 → 【正】魔振り人形 **豆知識** 【正】魔振り人形——幣や采を振り、周囲を清める人形。